

第4次基本構想・第5次基本構想比較表

第4次基本構想(平成 23 年度から令和2年度まで)

将来都市像
「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」

基本理念
『誇りと愛着』、『共生と自立』、『安心と安全』

将来都市像実現のための6つの柱

- 1 健康福祉都市をめざして
保健・医療/社会福祉/社会保険
- 2 教育文化都市をめざして
教育/生涯学習/文化/スポーツ・レクリエーション/青少年健全育成/男女共同参画社会
- 3 環境共生都市をめざして
環境との共生・保全/資源循環型社会の形成
- 4 安心安全都市をめざして
市民の安心/市民の安全
- 5 快適生活都市をめざして
総合交通/公園・緑地/水道/下水道/市街地整備/住宅
- 6 産業活力都市をめざして
農業/商工業/観光/労働環境

構想の推進のために

- 1 市民参画によるまちづくりの推進
- 2 地域の視点に立った主体的なまちづくりの推進
- 3 持続可能な行政経営の確立

4次から
5次へ

第5次基本構想(令和 3 年度から令和 10 年度まで)

将来都市像
「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな
笑顔あふれるまち やちよ」

基本理念
『誇りと愛着』、『共生と自立』、『安心と安全』

将来都市像の実現に向けた5つの柱

- 1 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり
子ども・子育て/地域福祉/社会保険/健康
- 2 豊かな心と文化を育むまちづくり
教育/生涯学習/文化/スポーツ
- 3 安心・安全に暮らせるまちづくり
暮らしの安心/暮らしの安全/上下水道
- 4 快適で環境にやさしいまちづくり
市街地・住環境の整備/総合交通・道路環境の整備/環境との共生・保全/循環型社会
- 5 産業が元気なまちづくり
農業/商工業/労働環境

構想の推進のために

- 1 市民にわかりやすいまちづくりの推進
- 2 地域の視点に立ったまちづくりの推進
- 3 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信
- 4 持続可能な行政経営の確立

具体的な取り組み, 事業については,
「基本計画」・「実施計画」に位置付けます。

反映

都市機能分析調査(平成 30 年度)

調査において挙げられた 8 つの課題を第5次基本構想策定に向け, 以下の整理, 反映を行い, 作成した。

- 課題1 人口減少, 少子高齢化への対応
⇒今後取り組むべき施策の重要性を踏まえ, 「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」の柱に掲げる施策の大綱として「社会福祉」から「子ども・子育て」を抜き出して一つ目の施策に位置付ける。
- 課題2 安心・安全なまちづくり
⇒『安心と安全』の基本理念を踏襲し, 「安心・安全に暮らせるまちづくり」や「快適で環境にやさしいまちづくり」の柱に地域防災力の向上やまちの強靱化に向けた取組を位置付ける。
- 課題3 都市機能の強化
⇒「快適で環境にやさしいまちづくり」の柱に市街地や総合交通の整備に向けた取組を位置付ける。
- 課題4 産業の振興
⇒総合戦略で掲げる地域経済の発展を踏まえ, 「産業が元気なまちづくり」の柱に地域経済の活性化や産業振興の強化に向けた取組を位置付ける。
- 課題5 環境に配慮したまちづくり
⇒環境と関連する「快適生活都市」の柱を統合し, 「快適で環境にやさしいまちづくり」として地球環境問題に配慮した取組を位置付ける。
- 課題6 男女共同参画・多文化共生の推進
⇒「教育文化都市」の柱の中に位置付けていたが, 施策全般に関わる取組として, 「構想の推進のために: 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」に位置付ける。
- 課題7 地域の活力の向上
⇒『共生と自立』の基本理念を踏襲し, 「構想の推進のために: 地域の視点に立ったまちづくりの推進」に位置付ける。
- 課題8 行政経営の強化
⇒観光部門とシティプロモーションの一体的な推進を図るため, 観光施策を「構想の推進のために: 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」に位置付ける。